

日本の古典に親しむコース

『源氏物語』を読む

講師 東北大学大学院文学研究科教授 横溝 博

紫式部の『源氏物語』は今日、世界文学となって多くの読者に親しまれています。時空を超えて現代の私たちに深い共感と感銘をもたらす『源氏物語』の魅力とは何でしょうか。本講座では、朱雀院鍾愛の娘・女三の宮を迎える光源氏の物語を、「若菜上」巻から読み進めていきます。源氏物語を読むためのガイドとなるよう、初心者の方でも楽しめる講座を目指します。



横溝 博(よこみぞ ひろし)

1971年生まれ。専門は中古・中世の王朝物語及び日記文学。平安時代に作られた様々な文化的コンテンツが、後の時代に受容され再生産されていく動態に着目し、王朝文化の内包する豊饒な感性の世界の可能性を、現在にも共有し押しひろげようと、日々古典文学作品の研究に努めている。近年では単著に『王朝物語論考—物語文学の端境期—』(勉誠出版、2023)他がある。

締切 5/16 火 必着

日程 6/10、6/17、7/1、7/8

各土曜日・全4回

時間 10:30~12:00

定員 60人

受講料 1回500円

テキスト

講義はこちらで用意したプリントに沿って進めますが、お手持ちの『源氏物語』がある方はご持参下さい。

『万葉集』を味わう

講師 一関工業高等専門学校総合科学人文社会領域教授 津田 大樹

この講座では万葉歌人、志貴皇子に関わる歌を取り上げます。天智天皇の皇子として壬申の乱後、天武皇統の時代を生き抜いた志貴皇子は、春到来のよろこびを歌い上げた巻8の巻頭歌「いはばしる～」の名歌をはじめ、透徹な眼差しで自然を見つめ時代の推移を見つめた作品を万葉集に伝えています。



津田 大樹(つだ たいき)

1967年生まれ。東北大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。現在、一関工業高等専門学校人文社会系教授。『万葉集』を中心とした古代文学を専門としている。歌の表現の成り立ちを古代の歴史や文化を踏まえながら明らかにすることを目指している。

締切 7/26 水 必着

日程 9/3、9/10、9/17、9/24、10/1

各日曜日・全5回

時間 10:30~12:00

定員 60人

受講料 1回500円

テキスト

講義はこちらで用意した資料に沿って進める予定です。お持ちの『万葉集』がある方はご持参下さい。毎回、次の講座で扱う歌をお知らせします。

古典芸能を楽しむコース

落語を味わう 特別編

講師 落語家 六華亭 遊花

落語は、噺家が身振りや手振り、扇子などの小道具を用いて、一人で何役も演じる伝統芸能です。シンプルですが、噺家の話術と聞き手の想像力ではなしの世界は無限に広がります。これまで2年に亘り開催してきた本講座を、今年度は特別編として、新春に開催します。一年の始まり。演芸会、落語会の動きと、寒中ならではの噺を紹介します。そこから、古典落語の中に見る、昔の冬の暮らしに思いを馳せます。東北の民話にも寄り道しながら、春を待ちわびる思いを共にしましょう。



六華亭 遊花(ろっかてい ゆうか)

落語家。96年より東北弁による話芸団体「東方落語」に参加。05年、真打に昇進し「川野目亭南天」と名乗る。10年、落語芸術協会に認められ、魅知国仙台寄席にレギュラー出演。同年、岩手県花巻市イーハトーブ賞奨励賞受賞。12年に三遊亭遊三一門となり「六華亭遊花」と改名。18年に文化庁芸術祭大衆演芸部門で優秀賞を受賞。魅知国定席「花座」、東方落語などで、古典落語を東北弁でアレンジしたり、東北の民話を落語にするなど、独自の落語で笑いを届けている。

締切 12/20 水 必着

日程 1/26(金)

時間 10:30~12:30

定員 60人

受講料 1,000円